

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる(生徒

校長室だより
 第 5 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

意見を言うことは生活を変える第一歩

熱気いっぱい生徒総会



六月六日(土)の生徒総会

合唱部

あじさいまつりに出場

6月20日(土)、合唱部員9名が、筒井市民センターで開催されたあじさいまつりに招待されました。地域の方のみならず、遠くから来られたファンまで、その美しいハーモニーに魅了されました。



～ありがとうございました～

会で、今年度のスローガンは、昨年度に続いて「Step by Step 挑戦・本気・考動力」と決まりました。Step by Step には、「さらによりよい熊西中学校を目指してがんばろう」という思いが込められているそうです。本校の生徒会活動における本気度・行動力には目を見張るものがあります。



また、生徒総会の第三号議案(学級からの提案)は、一つ(文化祭・クラスマツチの種目について)を除いて、すべて可決されました。

すが、生徒たちの分析によると、始めから本気で取り組み、一人一人が自分で考えて行動することがまだできていないそうです。それで、これからもさらによりよい熊西中学校を目指して、自ら考えて行動し、ステップアップし続けていくことになりました。



五月二十七日(水)、二年生がスクール救命士講習を受けました。八幡西消防署の救急隊員を講師にお迎えしての講習会でした。まず、救えな

命の大切さを知った二年救命士講習

その後、まだ職員会議での話し合いが終わっていませんので、全部が実現できるとは限りません。ただ、冷水機やトイレの修理など、かなえられる要望はもう実現していています。民主主義の世の中においては、まず根拠を明らかに

して自分の意見を言うことが大切です。また、反対の人の意見も聞かなければなりません。それが、生活を変える第一歩になります。これからも本校のことを本気で考え、自ら行動し続ける生徒が増えていくことを願っています。

習会でした。まず、救えなかった命についてのDVDを観た後、簡易人体模型が各自に配られ、心臓マッサージの練習をしました。その際、ひそひそ話が聞こえ、学年の先生方から「それで大切な命を守るのか」と注意を受けました。その後のグループ学習には、全員が真剣に取り組みました。人として大切なことを学ぶことができましたようです。